

8月28日(火) 北海道通信

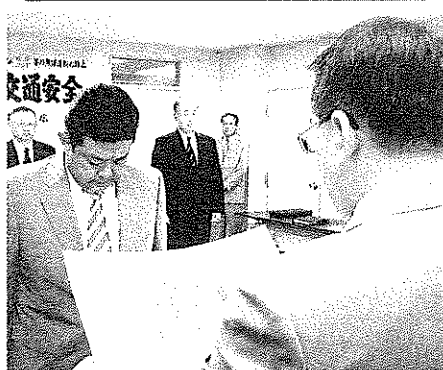
4社の功績高く評価

さらなる飛躍に期待

帯広

【帯広発】帯広土現は二十七日、土現大会議室で十九年度建設部工事等優秀業者表彰式を挙げる。紺野寛所長が工事部門四社の代表者に知事感謝状を手渡し、功績をたたえた。

本年度、帯広土現管内からは工事部門の一般土木A



表表彰式には幹部職員が列席。冒頭あいさつに立った紺野所長は、全道の一般土木一千四百四十社、舗装百二十五社の中から、管内四社が選出されたことを喜んだあと、「良い成果品を納めていた

だいていること

に感謝している。品質確保と技術力の向上に努めて」とさらなる飛躍に期待を寄せた。引き続き、紺野所長が受賞各社の代表者に感謝状を贈呈した「写真」。

表彰式後の懇談では、改めて紺野所長が昭和四十年から続く由緒ある賞を受賞した各社を称賛。宮坂社長は「大変光栄で身の引き締まる思い。これを機に安全管理・品質管理を全道で徹底していきたい」、野田社長は「安易なことではできないという社内の雰囲気ができる。恥しないよう頑張りたい」、神馬社長は「二年連続の受賞は大きな財産」、土岐社長は「舗装補修にもスポットを当てていただいた。初めての受賞で励みになる」と喜びを語った。